

単元名 つづけよう①

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。  
 (2) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。  
 (3) 詩の音読を楽しみ、詩に描かれた様子を想像しながら、よりよい音読の仕方を意識して練習しようとする。

## 標準的な展開例

01010102\_001

【教材名】 こえに だして よもう／ききたいな、ともだちの はなし／たのしいな、ことばあそび  
 (上 P. 26～P. 31)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 詩を楽しんだり想像を広げたりして読む。          ★様子を思い浮かべて「あさの おひさま」を読もう。          ○「あさの おひさま」を声に出して読む。</p> <p>○朝日や海の様子や想像したことを話す。          ○言葉の響きやリズムに気を付けながら、暗唱する。</p> <p>2～3 友達の好きな遊びを聞いて、分かったことや感想を全体に知らせる。          ○教科書 (P. 28～29) を読み、教師の説明を聞いて、活動内容を知る。          ○友達とペアになり好きな遊びを聞いて、分かったことや感想を声の大きさや速さに気を付けて全体に知らせる。          ○聞き手と話し手を交代して、同じ活動をする。</p> <p>4～5 言葉集めをする。          ○教科書 (P. 30) を見て「あ」で始まる言葉は、いろいろあることを知る。</p> <p>○「い、う、か」など、既習の平仮名で始まる言葉集めをする。</p>	<p>・声の大きさやリズムを工夫してはっきりと読むようにさせる。          【評】 詩の音読を楽しむ活動を通して、様子を想像しながらよりよい音読の仕方を意識して練習しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】 詩を読む活動を通して、言葉のまとまりや響きに気を付けて音読する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書 (P. 29) の挿絵を参考に、話し手を見て話を聞くことを知らせる。          【評】 ペアでの活動を通して、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・手を打ちながら1音節1文字であることに気付き、2文字3文字4文字の言葉があることを知らせる。          ・「あ」で始まる教科書以外の言葉集めをさせる。          【評】 言葉集めの活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにするという「知識・技能」を評価する。          ・手を打ちながら行うことで、文字数を意識させる。          ・これまでに習った文字を使って言葉を見つけて、ノートに書かせる。          【評】 言葉集めの活動を通して、たくさんの言葉を見付けようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】